



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第9号

令和4年7月22日

1学期が無事に終わりました！

4月6日の始業式から73日間の1学期が今日で終わります。今年も無事に夏休みを迎えることができ、ほっとしております。

さて、ビヨンドコロナ、ウイズコロナと言われ、社会情勢は国内外への旅行や会食、イベントの人数等、様々な制限を徐々に撤廃し、日常が戻りつつあります。学校の教育活動も感染予防対策を講じながら、運動会や校外学習等の行事、「ライラックリーディング」の方による読み聞かせや放課後子ども教室「さんさん東明」、クラブ活動等の外部講師による活動も通常どおり行われました。夏休みには6年生の立山登山、2学期には5年生の宿泊を伴う野外活動が予定されています。



授業や特別活動、行事等を通して、楽しそうな笑顔で活動する子供たちの姿を見ると、子供たちの学びを止めないことの大切さをひしひしと感じています。

ただ、夏休みに入る前に第7波が襲来し感染が拡大し、猛威を振るっています。これからも感染拡大が繰り返し起きるものだとすることを心して、そのような中でも学校は子供たちのために何ができるか、何をするかを真摯に考え、教育活動に取り組んでいきます。保護者の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

薬物乱用防止教室

7月7日(木)、射水市保護司会より6名の方々をお迎えして、6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。覚醒剤や大麻等の薬物の怖さがDVDや棚田さんの話からよく分かりました。最後に「ダメ、薬物はダメ」を3回唱えました。子供たちが大人になっても薬物には絶対に手を出さないことを願っています。



みなとの見学会

7月15日(金)、5年生が「みなとの見学会」に行きました。ポートづくりを見て、渡し船に乗りました。そして新湊大橋を歩き、その雄大さに感動しました。最後に国際物流ターミナル施設を見学し、大きなコンテナがある様子を見ました。日本海側の貿易を支える港の大切さを学びました。



交通安全子供自転車富山県大会



7月3日（日）に、射水市を代表して東明小学校の6年生4名が第55回交通安全子供自転車富山県大会に参加しました。この大会には富山県の各地から小学校14校が出場しました。参加した児童は、城内藍仁さん、西田彪華さん、山田まな実さん、ザヒド瑠葉ファータィマさんです。射水市交通安全協会の方や先生方の指導の下、この日のために練習を続けてきました。

午前9時に開会式が行われました。最初は交通法規や標識等の筆記テストでした。これまでの勉強の成果を十分に発揮してくれたと思います。10時20分から実技テストが開始されました。東明小学校は12番目でした。緊張した中にも、子供たちには明るい表情が見られて、チームの雰囲気は抜群でした。1人目がスタートしました。ピンを倒すこともありましたが、慎重に通過できました。次は、縄梯子を通ります。ガタガタしてハンドル操作が難しいのですが、4人ともバランスよく運転し、見事にクリアしました。そして、1本橋をまっすぐに進み、交差点では

信号に合わせて合図を出しながら通りました。障害物を避けて進み、踏切ではきちんと停止して、安全確認してからスタートしました。4人は本当に落ち着いて実技に取り組みました。指導された先生方、応援してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。子供たちにとって、初夏のよい思い出となりました。



参加した児童と付き添いの先生



落ち着いて競技に挑む子供たちの姿

コロナ禍の中、3年目の教育活動がスタートし、本日無事に1学期を終えることとなりました。ひとえに保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげだと心より感謝しております。まだまだ感染については予断の許されない状況下ではありますが、子供たちと楽しい夏休みを過ごしてください。

(校長 阿尾昌樹)